

- 問1 日本の工業地域の特色について述べた文のうち、瀬戸内工業地域における造船業の特徴を具体的に示したものはどれですか。(2022年 東京都公立入試 類似)
1. 島や半島の多い入り組んだ地形を活かして、都市の臨海部でカーフェリーなどの船舶が建造されている。
  2. 愛知県を中心とした地域において、多くの関連工場が集まる中で世界的な規模の自動車生産が行われている。
  3. 神奈川県の大規模な製鉄所や石油化学コンビナートが立ち並び、原材料の加工が行われている。
  4. 北海道の石狩湾周辺において、広大な敷地を必要とする食品加工業や製紙業が地域経済を支えている。
- 問2 四国地方の北西部に位置する愛媛県において、レモンやみかんなどの柑橘類の栽培が盛んに行われている理由として、地域の自然環境を説明したものと最も適切なものを選びなさい。(2020年 長野県公立入試 類似)
1. 年間を通じて温暖であり、季節風の影響を山地が遮ることで晴天の日が多く、降水量が比較的小さいため。
  2. 季節風による冬の降雪量が多く、その雪解け水が果樹の成長に必要な水分を安定して供給するため。
  3. 広大な平野部が広がっており、機械を導入した大規模な果樹園の経営が容易であるため。
  4. 台風の通り道となることが多く、年間を通じて大量の雨が降ることで土壌が常に湿潤に保たれるため。
- 問3 愛媛県において、米や野菜など他の農産物に比べて、みかんなどのかんきつ類を含む「果実」の生産が非常に盛んである理由として、地理的な環境の観点から最も適切な説明はどれですか。(2022年 千葉県公立入試 類似)
1. 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。
  2. 広大な平野を活用し、大規模な機械を導入することで効率的な生産が可能になったため。
  3. 年間を通じて降水量が非常に多く、常に大量の水を必要とする果実の栽培に適しているため。
  4. 涼やかな気候を活かして、他の地域では栽培が難しい高冷地野菜を生産しているため。
- 問4 中国地方の人口分布の特徴について述べた文として、正しいものはどれか。(2019年 佐賀公立入試 類似)
1. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。
  2. 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が高く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が低い。
  3. 中国山地に近い県ほど人口密度が高く、日本海側や瀬戸内海側の沿岸部では人口密度が低くなる。
  4. 中国地方5県のうち、最も面積が広い島根県の人口密度が最も高く、広島県の人口密度は最も低い。
- 問5 中国地方と四国地方の間に位置する地域では、約4170kmにおよぶ島や半島、岬が入り組んだリアス海岸が広がっています。この複雑な地形を活かして、人口が集中する都市の臨海部で特に盛んに行われており、カーフェリーなどの製造を通じて関連産業が集積している工業はどれですか。(2022年 東京都公立入試 類似)
1. 瀬戸内工業地域の造船業
  2. 中京工業地帯の自動車工業
  3. 京浜工業地帯の石油化学工業
  4. 阪神工業地帯の金属工業
- 問6 ある地域の地形図において、標高約332mの山頂であるA点から、海岸沿いの平坦地であるB点までの断面図を作成する場合、等高線の読み取り方とその結果として得られる地形の記述について、適切なものはどれですか。(2017年 和歌山公立入試 類似)
1. A点付近は等高線が密集しており、断面図では高い位置からB点に向かって急激に標高が減少する曲線になる。
  2. A点付近は等高線の間隔が広いので、断面図では低い位置から始まり、B点に向かって標高が急上昇する。
  3. A点とB点の等高線の間隔は等しいため、断面図では一定の傾斜を持つなだらかな斜面として描かれる。
  4. A点とB点の間地点で等高線が最も密集しているため、断面図では中央が最も盛り上がった地形になる。
- 問7 岡山県から四国側への自動車による到達圏域の変化を調べた調査において、1985年時点と比較して、2011年時点では四国側のより広範囲の地域へ短時間で到達できるようになっています。このような変化が生じた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。(2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。
  2. 1988年に青函トンネルが開通し、全国的な高速道路網の整備が完了したため。
  3. 1998年に明石海峡大橋が開通し、徳島県から岡山県への移動が容易になったため。
  4. 瀬戸内海沿岸の埋め立てが進み、四国との間の海上の距離が物理的に短くなったため。
- 問8 1988年に、岡山県と香川県を島々を伝って結ぶ「本州四国連絡橋(児島・坂出ルート)」が完成しました。これにより本州と四国が陸路で直接結ばれ、物流や人の移動が劇的に変化することとなりました。この時に開通した橋の名称として正しいものを選びなさい。(2018年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 瀬戸大橋
  2. 明石海峡大橋
  3. しまなみ海道
  4. 青函トンネル
- 問9 鳥取県の農業について述べた次の文のうち、産出額の構成とその背景について説明したものと最も適切なものを選びなさい。(2017年 富山県公立入試 類似)
1. 干拓によって得られた広大な平地を利用した、大規模な稲作が中心となっている。
  2. 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。
  3. 瀬戸内海の温暖な気候と傾斜地を活かした、レモンやみかんなどの果実栽培が中心である。
  4. 大都市に近い立地を活かし、キャベツやレタスなどの近郊農業が産出額の半分以上を占める。
- 問10 本州四国連絡橋の3つのルートのうち、広島県尾道市と愛媛県今治市を結び、サイクリングロードとしても人気が高い「しまなみ海道」が含まれるルートの名称として正しいものを選びなさい。(2024年 和歌山公立入試 類似)
1. 尾道・今治ルート
  2. 児島・坂出ルート
  3. 神戸・鳴門ルート
  4. 明石海峡ルート
- 問11 島根県の産業的特色について説明した文として、統計的な事実に基づき最も適切なものを次のうちから選んでください。(2019年 島根公立入試 類似)
1. 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。
  2. 日本最大級の工業地帯を擁しているため、製造品出荷額が数十兆円に達し、第1次産業の就業者割合は極めて低い。
  3. 観光業に特化した産業構造を持ち、第3次産業の割合が全国で最も高い一方で、県内に温泉地はほとんど存在しない。
  4. 第1次産業の就業者が半数を超えており、製造業はほとんど行われていないため製造品出荷額の統計が存在しない。
- 問12 徳島県と兵庫県を結ぶ「神戸・鳴門ルート」が、地域の物流や交通において果たしている役割や特徴について述べた文として、適切なものを選びなさい。(2024年 京都公立入試 類似)
1. 海を隔てた府県間を高速道路の橋で直結し、徳島県と近畿地方を結ぶ動線となっている
  2. 四国内の香川県や高知県との県境を橋でつなぎ、島内の交通を円滑にしている
  3. 鉄道のみを走行させる専用の橋を建設することで、近畿地方への通勤を可能にしている
  4. 徳島県から兵庫県を経由せずに、直接大阪府へ渡るための唯一の陸路となっている

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 島や半島の多い入り組んだ地形を活かして、都市の臨海部でカーフェリーなどの船舶が建造されている。	瀬戸内工業地域では、リアス海岸という自然条件を最大限に活用した産業展開が行われています。特に、人々の移動や物流に欠かせないカーフェリーなどの大型船舶を製造する造船所が、人口の多い都市に近い臨海部に立地しています。これにより、労働力の確保と輸送の利便性の両立を図りながら、関連産業を含めた一大集積地を形成しています。
問2	<b>答え 1</b> 年間を通じて温暖であり、季節風の影響を山地が遮ることで晴天の日が多く、降水量が比較的小さいため。	愛媛県が面する瀬戸内地方は、北を中国山地、南を四国山地によって挟まれているため、季節風の影響を受けにくく、年間を通じて温暖で乾燥した気候が特徴です。このような日照時間の長さ、水はけの良い傾斜地を利用した段々畑の存在が、高品質なレモンやみかんを栽培する上で最適な条件となっています。
問3	<b>答え 1</b> 急な斜面が多く、日当たりや水はけが良い土地条件を活かして栽培が行われてきたため。	愛媛県では瀬戸内海沿岸を中心に山地が海に迫っており、その急斜面を「段々畑」として利用しています。傾斜地は平地に比べて日当たりが良く、さらに水はけも良好であるため、甘くて質の良いかんきつ類の栽培に最適な環境となっています。
問4	<b>答え 1</b> 日本海側の山陰地方にある島根県や鳥取県では人口密度が低く、瀬戸内側の広島県や岡山県では人口密度が高い。	中国地方は、中国山地を境として北側の山陰と南側の瀬戸内に分かれます。瀬戸内側は、平地が広がり気候が温暖であることや、瀬戸内工業地域として産業が発達していることから、広島県や岡山県を中心に人口が集中し、人口密度が高くなっています。対して、山陰地方の鳥取県や島根県は、地形的制約や過疎化の影響もあり、人口密度が低い傾向にあります。
問5	<b>答え 1</b> 瀬戸内工業地域の造船業	瀬戸内海沿岸は、多くの島々や入り組んだ海岸線を持つリアス海岸が発達しています。波が穏やかで水深が深い入り江は、大型船の建造や停泊に非常に適しており、古くから造船業が発展してきました。現在でもカーフェリーをはじめとする多様な船舶の建造が行われており、部品供給を行う関連工場も周辺に集積しています。
問6	<b>答え 1</b> A点付近は等高線が密集しており、断面図では高い位置からB点に向かって急激に標高が減少する曲線になる。	断面図を作成する際、地形図上の等高線の密度は傾斜の度合いを直接反映します。山地であるA点付近は標高が高く等高線が密に描かれているため、断面図では高い地点から始まる急な斜面として表現されます。一方、港などの沿岸部であるB点付近は等高線がほとんど見られないため、断面図では標高が低く、変化の少ない平坦な地形として結ばれます。
問7	<b>答え 1</b> 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。	岡山県から四国側への自動車の移動時間が大幅に短縮されたのは、1988年の瀬戸大橋開通が最大の理由です。それ以前はフェリーによる海上輸送が中心であり、天候の影響を受けやすく時間もかかっていましたが、陸路（橋）で結ばれたことで24時間の安定した往来が可能となり、生活圏や経済圏が拡大しました。明石海峡大橋は兵庫県（神戸市）と淡路島を結ぶルートであるため、岡山県からの直接的な到達圏拡大の主因とは言えません。
問8	<b>答え 1</b> 瀬戸大橋	1988年に開通した瀬戸大橋は、岡山県（本州）と香川県（四国）を結ぶ道路・鉄道併用橋です。この開通により、それまで船舶に頼っていた本州と四国間の交通が劇的に改善されました。同じ1988年には北海道と本州を結ぶ青函トンネルも開通していますが、こちらは橋ではなく海底トンネルです。明石海峡大橋は1998年に開通した兵庫県と淡路島を結ぶ橋です。
問9	<b>答え 2</b> 大山の裾野に広がる広大な土地を利用して、牛や鶏などの飼育が盛んに行われている。	鳥取県の農業産出額において、畜産は全体の58.1%を占める主要な部門です。これは、大山の周辺に広がる緩やかな傾斜地や広大な土地が、家畜の飼育や牧草地として適しているという地理的条件に基づいています。一方で、米（12.5%）、野菜（10.8%）、果実（7.9%）などの割合は畜産に比べると低くなっており、全国的に見ても畜産に特化した産出構造を持っているのが特徴です。
問10	<b>答え 1</b> 尾道・今治ルート	広島県と愛媛県を結ぶ「尾道・今治ルート」は、瀬戸内海の島々を橋でつないでおり、「しまなみ海道」の愛称で親しまれています。このルートは、本州四国連絡橋の中で唯一、歩行者や自転車が通行できる専用道路が並走しているのが特徴です。一方、岡山県と香川県を結ぶのは児島・坂出ルート、兵庫県と徳島県を結ぶのは神戸・鳴門ルートです。
問11	<b>答え 1</b> 第1次産業の就業者割合が約8%であり、製造品出荷額が1兆円を超える一方で、43箇所の温泉地などの観光資源を有している。	島根県は、第1次産業の就業者割合が約8%と、全国平均よりも高い水準を維持しているのが大きな特徴です。製造業においては、特殊鋼や電子部品などの分野を中心に約1兆円強の出荷額を記録しています。加えて、玉造温泉や有福温泉など43箇所の温泉地といった観光資源も、地域の産業を支える重要な要素となっています。愛知県や大阪府のような大規模な重化学工業地帯とは異なる、農林水産業と製造業、観光業のバランスが取れた構造を理解することが重要です。
問12	<b>答え 1</b> 海を隔てた府県間を高速道路の橋で直結し、徳島県と近畿地方を結ぶ動線となっている	徳島県と兵庫県の間には海がありますが、高速道路の橋によって直接つながっています。この交通網の整備により、フェリーなどに頼っていた以前と比べて、徳島県から兵庫県を含む近畿地方への移動時間が短縮され、生鮮食品の輸送などの物流面でも非常に大きな役割を果たすようになってきました。